

基本目標	美しい自然を未来につなぐまちづくり【環境・生活基盤】
施策名	環境保全
騒音や公害、水質汚染のない快適な生活環境にむけて、公害の監視体制の整備や公害防止対策、水質浄化対策、子どもたちを対象にした環境教育、市民や事業者に対する情報提供や学習機会の充実などを図り、環境意識の高揚や環境にやさしい生活・活動を促進します。	
施策が目指す蒲郡市の将来の姿 ●騒音や公害のない、快適な環境で暮らしています。 ●すべての人が美しい海や自然環境の保全に理解を深め、自ら行動しています。	

◆具体化した施策の取り組み実績

1 公害の監視体制の整備と公害防止対策の推進

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
公害苦情件数	197件	188件	-
公害防除資金融資	実績なし	実績なし	-

2 不法投棄防止対策の推進

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
パトロールの強化	不法投棄早期回収パトロール実施	不法投棄早期回収パトロール実施	不法投棄早期回収パトロール実施
不法投棄件数	110件	97件	-

3 水質浄化対策の推進

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
三河湾浄化店頭啓発事業	水竹町フィール・竹谷町イオンで実施	水竹町フィール・竹谷町イオンで実施	水竹町フィール・竹谷町イオンで実施予定
環境講演会事業	蒲郡市立三谷東小 412人	蒲郡市立北部小 309人	蒲郡市立西部小 6月に実施

4 環境美化活動の推進

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
530運動実践活動への支援	272団体 18,121人	214団体 12,692人	-
春・秋のクリーンキャンペーン(年2回、統一実践)	60団体 1,658人	53団体 1,102人	-

5 環境教育の推進

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
里山自然観察会	相楽の森 15名参加	相楽の森 10名参加	10月20日実施予定
三河湾環境チャレンジ(干潟観察)	12回 665人	10回 510人	16回計画

◆評価指標

指標名	区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	将来目標
公害苦情件数	目標値		-	-	
	実績値	197件	188件		平成32年度
530運動実践活動申請数	目標値		-	-	-
	実績値	272団体	214団体		平成32年度
環境講演会事業	目標値		-	-	-
	実績値	蒲郡市立三谷東小 412人	蒲郡市立北部小 309人		

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
公害苦情件数	典型7公害(大気・水質・騒音・振動・悪臭・廃棄物・その他)の苦情件数
530運動実践活動申請数	春・秋の統一実践活動以外の申請団体件数(年間の申請団体件数)
環境講演会事業	小学生児童と保護者数

◆指標の分析

- ◆都市化・市民生活の多様化に伴い、野焼き、交通騒音や近隣騒音、生活排水に起因する水質汚濁や悪臭等、日常生活に深く関わる新たな生活型の環境問題が顕在化している。
- ◆530運動実践活動の申請数は前年度から減少しているが、事業全体としては定着してきていると思われる。今後も530運動実践活動など積極的な参加を呼びかけ、市民・事業者・市民団体が行う自主的な美化活動を支援していく。
- ◆小学生児童と保護者を対象に自然環境(森・川・海)について興味を持っていただき、自然の大切さを伝える。

◆今後の方針

- 施策の課題
- ◆近年では、野焼きなどの苦情が多くなっており、原則として廃棄物の野焼き禁止の周知徹底が必要である。
  - ◆530運動を開始してから35年が経過し、春・秋のクリーンキャンペーンや530運動実践活動など今では多くの市民・事業者・市民団体に周知され定着してきているが、今後も継続性を持たせていくにはより多くの団体等の参加が必要である。
  - ◆自然環境学習に力を入れている小学校で行い、今後も継続的に実施できるようにしたい。

- 今後の施策展開
- ◆様々な環境問題に対応するため、市民・事業者・行政が連携して地域の特性に応じた環境保全を積極的に進めていくこと。
  - ◆美しいまちづくりを目指し、事業に継続性を持たせ、また環境教育の一環として実施していくためには、参加団体の拡大を行っていききたい。自分たちのまちは自分たちの手できれいにするという意識を持ってもらうよう、また、日常の取組みとして定着するよう啓発をしていきたい。
  - ◆来年度も講師に内諾を得ており、毎年市内各小学校で実施する予定である。

課長評価	構成事業の進捗状況	B:おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B:一部見直しが必要である。
	コメント	環境保全における苦情処理は、隣人や地区でのつきあいの希薄化で、行政に問題をぶつけるばかりで、今後も増えていくと思われる。対策は難しい。大人より、こどもたちへの環境教育をもっと充実していければと思う。

部長評価	施策の進捗状況	C:目指す将来像実現に向けて計画より進行が遅れている。
	コメント	構成事業は概ね計画通りの進捗であるが、活動参加人員等が減少している。水質浄化対策では下水道認可区域以外の地域における合併処理浄化槽の普及が課題となっており、評価指標や施策内事業の見直しが必要と思われる。

施策に属する事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費 (千円)	人工	総合 評価	事業の 種別	市長 コメント	実施 計画
4-3	環境清掃課	295	公害苦情処理事業	144	8,314	1.30	B	カ	-	×
4-3	環境清掃課	296	環境啓発事業(地球環境対策、こどもエコクラブ、出前講座)	107	4,091	0.60	A	カ	-	×
4-3	環境清掃課	297	環境調査事業(河川水質、環境騒音、道路交通騒音、悪臭等)	1,032	3,237	0.50	A	カ	-	×
4-3	環境清掃課	298	三河湾浄化推進事業	883	3,330	0.50	A	カ	-	×
4-3	環境清掃課	300	環境美化事業	1,286	11,954	1.55	B	カ	-	×